

# 脳卒中の医療提供体制に係るモニタリング指標について

【令和6年11月26日開催 病院部会・市町部会の協議結果】

## 1 趣旨

令和6年度第1回岩手中部保健医療圏地域医療連携推進会議で出された、脳卒中を管理する上で心房細動は重要であるとの意見を踏まえ、脳卒中对策に心房細動を位置づけることについて、病院部会・市町部会で協議を行ったもの。

## 2 協議内容

### (1) 事務局説明の概要（別添部会資料により説明）

#### ア 岩手県保健医療計画における脳卒中の医療体制と心房細動の位置づけ

脳卒中の予防のためには、高血圧、喫煙、肥満、脂質異常症、不整脈（**特に心房細動**）等の危険因子の早期発見が重要であり、このためには特定健康診査の受診率向上が重要。

#### イ 脳梗塞と心房細動との関係について

心原性脳梗塞は、脳梗塞の2～3割を占めている。心原性脳梗塞の原因の3/4は心房細動であり、心房細動からの心原性脳梗塞の発症予防は、極めて重要である。（公益社団法人日本脳卒中協会「心房細動週間」HPより）

#### ウ 心房細動をモニタリング指標に設定する際の課題について

現時点で、特定健康診査における心房細動に関するデータの抽出が不可能であること、また、岩手県医療等ビッグデータのレセプトデータから抽出する場合、心房細動に関する抽出要件が多く、抽出が容易ではないことなどが課題。

### (2) 主な意見等

- ・レセプトデータには、心房細動に関する病名が17種類あるとのことだが、全てを抽出するのは厳しいかと思うが、心房細動に係る指標を入れた方が良い。
- ・特定健康診査で心房細動のチェックを受けた方が、より早く近くのかかりつけ医に受診する流れを作ることが大事。 など

### (3) 今後の対応

脳卒中の医療体制に関するモニタリング指標の設定について、事務局でデータ等を整理し、引き続き協議を行うこととした。